

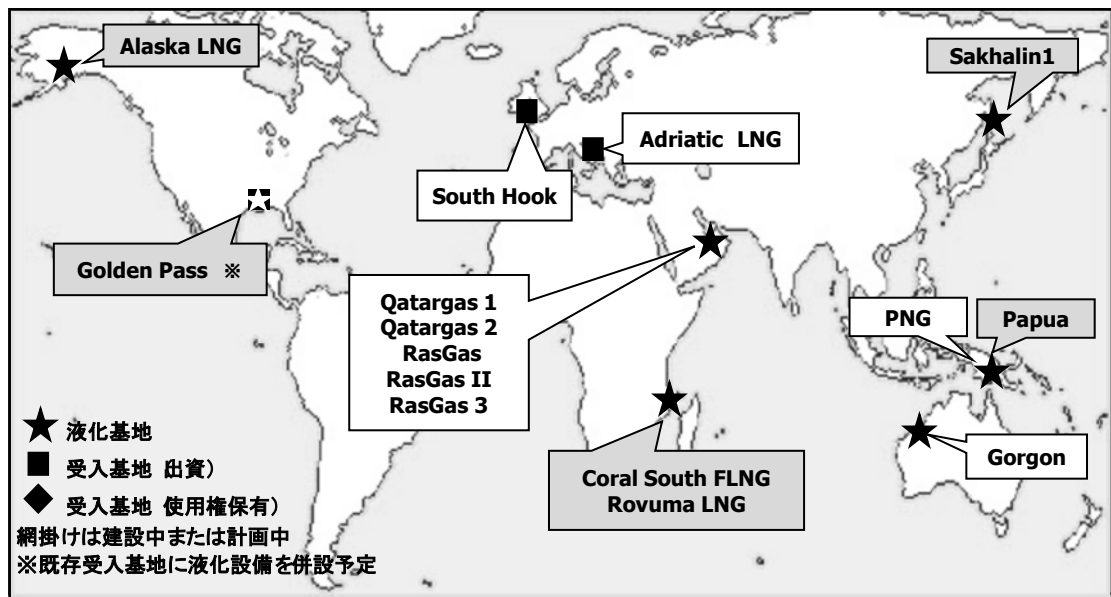
1. ExxonMobil

(1) 企業概要

ExxonMobil は世界最大の民間石油・ガス会社である。世界 45 カ国で石油・ガス上流事業を展開しており、2019 年の石油・ガスの生産量は 395.2 万 boe/d（前年比 3.1%増）であった。同年の天然ガス生産量は 9.4 Bcf/d（97.1 Bcm/y）で、石油・ガス生産量の 39.6%を占める。石油・ガスの開発事業以外にも、石油精製などの下流事業を世界 22 カ国で、石油化学品事業を世界 13 カ国で展開している。

同社は前身の Exxon 時代の 1930 年から、格付機関 Standard & Poors より、エネルギー企業として唯一のトリプル A 格付を維持してきたが、2016 年 4 月、負債の拡大、今後の生産維持に必要となる資金需要の増加への懸念から、ダブル A+に格下げされた。また、2020 年 3 月には原油の価格低迷で、ダブル A に格下げされた。さらに、2020 年 8 月、S&P Dow Jones Indices は、同年 8 月 31 日から ExxonMobil がダウ・ジョーンズ工業株 30 種平均株価構成銘柄から外れることを発表した。

ExxonMobil の LNG 液化・受入基地図



(2) LNG 関連

ExxonMobil は、1970 年代 Exxon によるリビア、Mobil によるインドネシアの Arun プロジェクトへの参画を皮切りに、数多くの LNG 生産プロジェクトに参画している。

パプアニューギニアでは、2014 年 PNG LNG プロジェクトの液化基地が稼働を開始し、2019 年には最大容量を超える年間 850 万トンを超える生産を達成した。ExxonMobil とパートナーはパプアニューギニアのガス開発に関しては同国政府と合意に達し、P'nyang ガス田開発を協議している。

IV. 主要企業別 LNG 事業動向

アラスカ州のガス開発事業では、2018年9月に2025年の稼働を目指している Alaska LNG プロジェクトを運営する Alaska Gasline Development Corporation (アラスカ州営ガス開発公社、AGDC) が ExxonMobil より North Slope で生産される 30 Tcf のガスを購入する契約を締結する予定であることを発表した。また、2019年3月には AGDC は ExxonMobil、bp とプロジェクトの競争力を向上させ、連邦エネルギー規制委員会 (FERC) の承認を進めることにより、Alaska LNG プロジェクトの推進に協力する契約を締結した。2020年6月、AGDC は同プロジェクトの最新コスト試算が、2015年の作成時と比較して 55 億米ドル (12.4%) 減の 387 億米ドルであると発表した。2020年5月、FERC は Alaska LNG プロジェクトの建設と運営を承認し、また 2020年8月、米国連邦エネルギー省 (DOE) は同プロジェクトから非 FTA 国に LNG を輸出することを承認する指令を発行した。

豪州では 2016 年に稼働開始した Gorgon プロジェクトに権益を保有している。一方、Scarborough プロジェクトについては、ガス田の 50%の所有権をパートナーの Woodside に売却しオペレーターから撤退した。

モザンビークでは開発の第1段階の Coral South FLNG が 2022 年の生産開始に向けて順調に建設が進んでいる。しかしその一方で 2020 年の第1四半期報告の中で Rovuma LNG については 2020 年後半に予定されていた最終投資決定 (FID) を延期すると発表した。

ExxonMobil は、下表に示す通り、Qatar Petroleum と共同で欧米の LNG 受入基地にも出資している。2011年に操業を開始した米国テキサス州 Golden Pass 受入基地は、米国国内の非在来型ガスの生産拡大による影響を受けて操業開始時点から稼働率が低迷しており、液化基地を併設する計画を進めている。2012年10月に米国エネルギー省 (DOE) の FTA 相手国への輸出許可を取得した。2014年7月には、FERC に前記基地併設の液化・輸出設備建設許可の申請を行い、2016年7月に最終環境影響評価書 (EIS) が発行、2017年4月に DOE の非 FTA 相手国への輸出許可を取得した。2019年2月に FID が行われると同時に EPC 契約も発表され、2025年運転開始に向け建設中である。2020年5月には LNG 生産容量を従来承認されていた年間 1,560 万トンから 250 万トン拡張し、年間 1,810 万トンとすることを FERC に申請した。

ExxonMobil が出資またはキャパシティ使用権を保有する受入基地

国名	基地名	出資者	受入能力 (万トン/年)	受入開始
イギリス	South Hook LNG /Milford Haven	Qatar Petroleum 67.5%, ExxonMobil 24.15%, Total 8.35%	1,560	2009年
イタリア	Adriatic LNG (Rovigo)	Terminale GNL Adriatico SRI (ExxonMobil 70.7%, Qatar Petroleum 22%, Edison 7.3%)	588	2009年
アメリカ	Golden Pass LNG - Sabine, TX <Phase 1> (液化基地を併設予定)	Qatar Petroleum 70%, ExxonMobil 30%	750	2011年
	<Phase 2>		810	

ExxonMobil が出資する LNG プロジェクト

国名	プロジェクト名 (Train名)	液化能力 万トン/年)	生産開始	出資者	主要仕向地
カタール	Q atargas 1 (Train 1-3)	960	1996年	Q atargas (Q atar Petroleum 65%, ExxonMobil 10%, Total 10%, 三井物産 7.5%, 丸紅 7.5%)	アジア 欧州
	Q atargas 2 (Train 4) (Train 5)	780	2009年	Q atar Petroleum 70%, ExxonMobil 30%	欧米 アジア
		780	2009年		
	RasGas (Train 1, 2)	660	1999年	RasGas (Q atar Petroleum 63%, ExxonMobil 25%, KORAS 5%, 伊藤忠商事 4%, エルエヌジー・ジャパン 3%)	アジア
	RasGas II (Train 3) (Train 4) (Train 5)	470	2004年	Q atar Petroleum 70%, ExxonMobil 30%	欧米 アジア
		470	2005年		
		470	2007年		
	RasGas 3 (Train 6) (Train 7)	780	2009年	Q atar Petroleum 70%, ExxonMobil 30%	欧米 アジア
780		2010年			
オーストラリア	Gorgon LNG (Train 1) (Train 2) (Train 3) (Train 4)	520	2016年	Chevron 47.333%, Shell 25%, ExxonMobil 25%, 大阪ガス 1.25%, 東京ガス 1%, JERA 0.417%	アジア
		520	2016年		
		520	2017年		
		520	計画中		
パプア ニューギニア	PNG LNG (Train 1, 2) (Train 3)	800強	2014年	ExxonMobil 33.2%, Oil Search 29.0%, Kum ul Petroleum 16.8%, Santos 13.5%, N ippon Papua New Guinea LNG LLC (X石油開発 79%, 丸紅 21%) 4.7%, MRDC 2.8%	アジア 太平洋
		267	計画中		N.A.
	Papua LNG	540	2024年 計画中)		Total 31.1%, ExxonMobil 28.7%, パプア政府&地権者22.5%, Oil Search 18.7%
アメリカ	Golden Pass LNG, TX (既存受入基地に併設予定) (Train 2) (Train 3)	520	2025年 (建設中)	Golden Pass Products (Q atar Petroleum 70%, ExxonMobil 30%)	N.A.
		520	2026年 (建設中)		N.A.
		520	2026年 (建設中)		N.A.
	Alaska LNG (North Slope), AK	最大 2,000	2025年 (計画中)	Alaska Gasline Development Corporation (アラスカ州営ガス開発公社)	N.A.
ロシア	Sakhalin 1	620	2023年以降 計画中)	ExxonMobil 30%, Rosneft 20%, SODECO 30%, ONGC 20%	N.A.
モザンビーク	Coral South FLNG (浮体式)	340	2022年 (建設中)	Mozambique Rovuma Venture (Eni 35.7%, CNPC 28.6%, ExxonMobil 35.7%) 70%、Gap Energia 10%, ENH 10%、KOGAS 10%	N.A.
	Rovuma LNG	1,520	2025年 (計画中)		N.A.

(3) 今後の戦略

ExxonMobil は 2020 年 4 月、COVID-19 の流行による供給過剰と需要の低迷によるエネルギー価格の下落により、2020 年の設備投資を以前は発表していた 330 億米ドルから 230 億米ドルに削減すると発表した。この中で、同社の経営計画を支える長期的な基本方針は変わっておらず、有利なプロジェクトへの投資は継続するとしている。ExxonMobil は 2018 年 3 月に 2017 年の原油価格を前提で 2025 年までに純利益を 2017 年の約 2 倍(105%増)にする利益計画を発表したが、この中では 2018 年は 240 億米ドル、2019 年には 280 億米ドルに拡大し、2023 年以降は年平均で 300 億ドルに積み増し、石油化学分野などの下流分野を含め、積極的な投資を行うとしていた。

同社は「2018 The Outlook for Energy: A View to 2040」で世界の天然ガス需要は 2016 年から 2040 年までの間に 40%拡大し、2040 年時点では、世界の天然ガスの 3 分の 1 は非在来型ガス田から供給されると予測し、LNG の貿易量は 2040 年に向け 3 倍に伸びると見込んでいる。LNG プロジェクトについては、スケールメリットで供給コストを下げるために、設備拡張を行うことを検討している。パプアニューギニアの PNG プロジェクトは 2018 年 4 月に推定埋蔵量を 2 Tcf 引き上げ、4.36 Tcf と発表、既存の LNG プラントの能力に 800 万トン/年の生産能力を追加する検討を行っている。